RV320およびRV325 VPNルータのインバウンド ロードバランシングの設定

目的

ネットワークのロードバランスは、ネットワークトラフィックを分散して、ネットワーク帯 域幅を最大限に活用し、ネットワークの冗長性を提供します。インバウンドロードバランス は、トラフィックが外部システムまたはサービス、またはダイナミックDNSシステムを通 じてバランスされるネットワークロードバランス技術の1つです。インバウンドロードバラ ンシングは、複雑なルーティングプロトコルを使用せずに、異なるWANポートを介して等 しいネットワークトラフィックを分散できる柔軟性を提供します。

このドキュメントの目的は、RV32x VPNルータシリーズでインバウンドロードバランシン グを設定する方法を示すことです。

該当するデバイス

- ・ RV320デュアルWAN VPNルータ
- ・ RV325ギガビットデュアルWAN VPNルータ

[Software Version]

• v1.1.0.09

インバウンドロードバランシングの設定

ステップ1:Web構成ユーティリティにログインし、[Setup] > [Inbound Load Balance]を選択 します。「インバウンドロードバランス」ページが開きます。

Inbound Load Balance			
Enable Inbound Load Balance			
Domain Name Table			
Domain Name	TTL		Admin
	7200		@yahoo.com
DNS Server Settings (NS Record) Table			
Name Server		Interface	
		WAN1: 0.0.0.0 WAN2: 0.0.0.0	
		WAN1: 0.0.0.0 WAN2: 0.0.0.0	
Host Record (A Record) Table			
Host Name		WAN IP	
		WAN1: 0.0.0.0 WAN2: 0.0.0.0	
		WAN1: 0.0.0.0 WAN2: 0.0.0.0	
Alias Record (CName Record) Table			
Alias		Target	
SPF Settings			

ステップ2:[Enable Inbound Load Balance] チェックボックスをオンにして、2つのWANポー トを介したネットワークトラフィックの分散を有効にします。

Ibound Load Balance			
Enable Inbound Load Balance			
Domain Name Table			
Domain Name	TTL	Admin	
	7200		@yahoo.com
DNS Server Settings (NS Record) Tat	le		
Name Server	Interf	are	
Name Server	Interf	iace	
Name Server	Interf W O W	face /AN1: <u>0.0.0.0</u> /AN2: <u>0.0.0.0</u>	

ドメイン名テーブル

ドメイン名は、特定のWebページのIPアドレスを識別するために使用されるドメインネーム サーバ(DNS)の登録名です。

ステップ1:インターネットサービスプロバイダー(ISP)がサービスに提供するドメイン名を [ドメイン名]フィールドに*入力*します。

Ir	nbound Load Balance				
	Enable Inbound Load Balance				
ſ	Domain Name Table				
	Domain Name	TTL		Admin	
l	example.com	7100		admin	@example.com
	DNS Server Settings (NS Record) Table				
	Name Server		Interface		
	.example.com		○ WAN1: <u>0.0.0.0</u> ● WAN2: <u>0.0.0.0</u>		
	.example.com		WAN1: 0.0.0.0 WAN2: 0.0.0.0		

ステップ2:DNSサーバのキャッシュメモリにDNS情報を保存する時間(秒)を*TTLフィール ドに入力*します。デフォルト値は 7200 秒です。範囲は0 ~ 65535秒です。

ステップ3:[Admin]フィールドに、連絡先の管理者の電子メールアドレスを入力します。

ステップ4:これまでの設定を保存し、他の設定をデフォルトのままにする場合は、[Save]をクリックして設定を保存します。

DNSサーバ設定(NSレコード)テーブル

ネームサーバーは、人間が認識できるドメイン名をマシンが認識できる数字のIPアドレスに 変換します。均等な負荷分散を行うには、ドメインネームサーバーのネームサーバーと、ネ ームサーバーが動作するWANポートを指定する必要があります。

ステップ1:[Name Server]フィールドにDNSのネームサーバ(NS)を入力します。

Inbound Load Balance			
Enable Inbound Load Balance			
Domain Name Table			
Domain Name	TTL	Admin	
example.com	7100	admin	@example.com
DNS Server Settings (NS Record) Table			
Name Server	Interface		
ns1 .example.com	○ WAN1: <u>0.0</u> ◉ WAN2: <u>0.0</u>	. <u>0.0</u> . <u>0.0</u>	
.example.com	WAN1: 0.0 WAN2: 0.0	. <u>0.0</u> . <u>0.0</u>	

ステップ2:選択したネームサーバの適切なWANインターフェイスをクリックします。

ステップ3:これまでの設定を保存し、他の設定をデフォルトのままにする場合は、[Save]をクリックして設定を保存します。

ホストレコード(Aレコード)テーブル

ホスト名は、ドメインの一意のユーザを識別するために使用されます。ロードバランシング を行うには、WANポートを通じて負荷を均等に分割するホスト名を指定する必要がありま す。

ステップ1:[Host Name]フィールドに、FTPまたはメールサービスを提供するホスト名*を入* 力します。

Inbound Load Balance				
Enable Inbound Load Balance				
Domain Name Table				
Domain Name	TTL		Admin	
example.com	7100		admin	@example.com
DNS Server Settings (NS Record) Table				
Name Server		Interface		
ns1 .example.com		O WAN1: 0.0.0.0 WAN2: 0.0.0.0		
.example.com		WAN1: 0.0.0.0 WAN2: 0.0.0.0		
Host Record (A Record) Table				
Host Name		WAN IP		
user .example.com		□ WAN1: 0.0.0.0 ✓ WAN2: 0.0.0.0		
.example.com		WAN1: 0.0.0.0 WAN2: 0.0.0.0		

ステップ2:適切なチェックボックスをオンにして、ホストに適切なWANインターフェイス を選択します。

ステップ3:これまでの設定を保存し、他の設定をデフォルトのままにする場合は、[Save]をクリックして設定を保存します。

エイリアスレコード(CNameレコード)テーブル

エイリアスは、ドメインのホストを識別するためのもう1つの名前です。ロードバランシン グを均等に行うには、負荷を均等に分割するホストのエイリアス名を指定する必要がありま す。

ステップ1:[エイリアス]フィールドにエイリアス名を入力します。これは、必要に応じて特定のサブドメインを他のドメインまたはサブドメインにリダイレクトするのに役立ちます。

nostivame		WAN IP
user	.example.com	WAN1: 0.0.0.0
	.example.com	WAN1: 0.0.00 WAN2: 0.0.00
Alias Record	(CName Record) Table	
Alice		Target
Allas		
host	.example.com	user .example.co

ステップ2:[Target]フィールドにエイリアス名の特定のドメイン名を入力します。

ステップ3:これまでの設定を保存し、他の設定をデフォルトのままにする場合は、[Save]をクリックして設定を保存します。

送信者ポリシーフレームワーク(SPF)

SPFは、送信者のIPアドレスの確認を通じて、電子メールスパムを防止することで、電子メ ールスプーフィングからのセキュリティを提供します。この設定は必須ではありませんが、 システムにセキュリティを提供します。

ステップ1:[**SPF Settings...]をクリック**して、Eメールベースのレコードテストを追加します 。

ost Name		WAN IP	
iser	.example.com	☐ WAN1: 0.1 ✓ WAN2: 0.1	<u>0.0.0</u> 0.0.0
	example com	WAN1: 0.	0.0.0
Alias Record (CName Record) Table	WAN2: <u>0.</u>	0.0.0
Alias Record (Jias	CName Record) Table	WAN2: <u>0.1</u> Target	0.0.0
Alias Record (dias	CName Record) Table	Target	0.0.0 .example.com

[SPF Settings Table]ウィンドウが開きます。

Items0-0 of 0 5 💌 per page
🖌 🗹 Page 1 🗸 of 1 🕨 🌬

ステップ2:[Add]をクリックします。新しい行が追加されます。

SPF Settings Table	Items0-0 of 0 5 🗸 per page
SPF TXT	
Add Edit Delete	Page 1 🗸 of 1 🕨 🗎
Save Cancel	

ステップ3:[SPF TXT]フィールドにメールサーバの名前を入力します。

SPF Settings Table	Items0-0 of 0 5 🗸 per page
SPF TXT	
mail.example.com	
Add Edit Delete	M Page 1 🗸 of 1 🕨 🗎
Save Cancel	

ステップ4:(オプション)SPFテキストを編集する場合は、編集する特定のSPFテキストの 横にあるチェックボックスをオンにし、[Edit]をクリックし、必要なフィールドを変更して[Save]をクリックします。

ステップ5:(オプション)SPFテキストを削除する場合は、削除する特定のSPFテキストの 横にあるチェックボックスをオンにして、[**Delete**]をクリック**します**。

ステップ6:(オプション)ここまでの設定を保存し、他の設定をデフォルトのままにする場合は、[Save]をクリックして設定を保存します。

メールサーバ(MXレコード)テーブル

メールサーバは、ドメインのホストのメールサーバです。ロードバランシングを行うには、 負荷を均等に分割するホストのメールサーバを指定する必要があります。

ステップ1:[Host Name]フィールドに、メールサーバのドメイン名を含まないホスト名*を入* 力しま*す*。

Alias		Target		
host	.example.com	user	.example.com	
	.example.com		.example.com	
SPF Settings . Mail Server(I	 IIX Record) Table			
SPF Settings . M ail Server(f Host Name	 MX Record) Table	Weight	Mail Server	
SPF Settings . Mail Server(I Host Name user	 IX Record) Table .example.com	Weight 10	Mail Server mail	.example.cor
SPF Settings . Mail Server(I Host Name user	 MX Record) Table .example.com .example.com	Weight 10 20	Mail Server mail	.example.con .example.con

・ Weight : メールサーバのホスト数を表します。

ステップ2:[Host Record (A Record) Table]セクションに保存されている内部メールサーバの 名前を入力するか、[Mail Server]フィールドに外部メールサーバの名前を入力します。

ステップ3:[**Save**]をクリック**して**設定を保存します。